

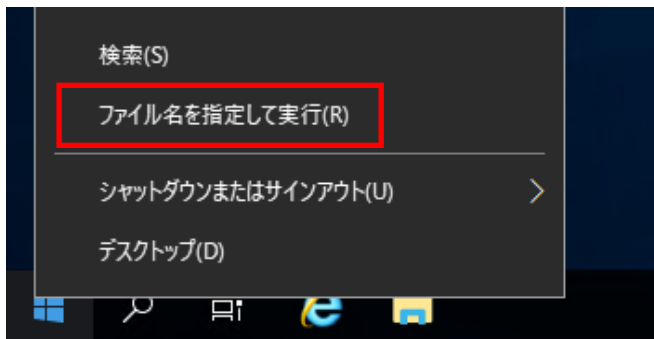
【Windows 更新プログラム自動更新の設定方法】

【設定方法】

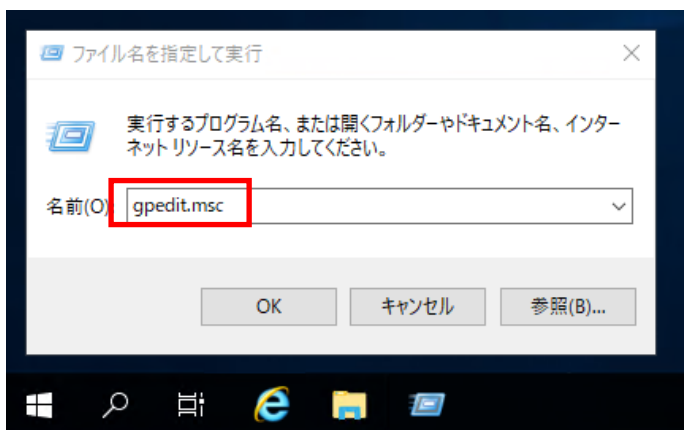
※画像は Windows Server 2019 です。

Windows Update の自動更新を有効(未構成)に設定、または有効(未構成)の確認

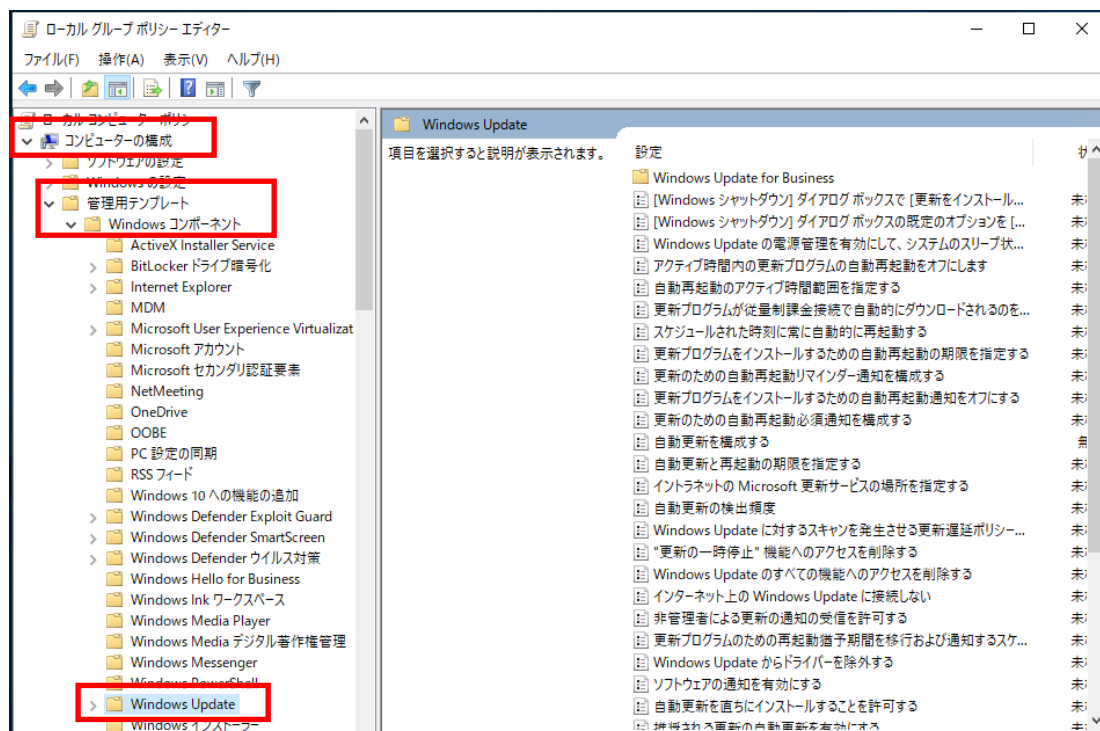
1.Windows の「スタート」を右クリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。



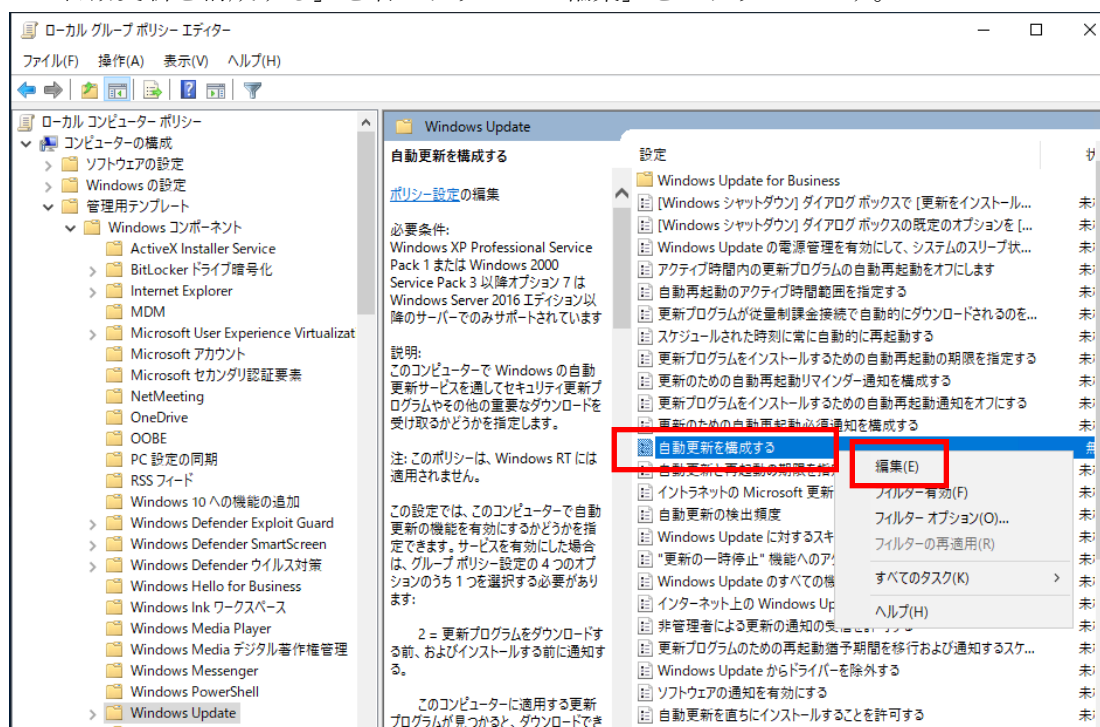
2.「名前」に、「gpedit.msc」と入力して「OK」をクリックすると、「ローカルグループポリシーエディター」が起動します。



3. 「ローカルグループポリシーエディター」画面で、「コンピュータの構成」
→「管理用テンプレート」→「Windows コンポーネント」と展開し「Windows Update」
をクリックします。



4. 「自動更新を構成する」を右クリックし「編集」をクリックします。



5. 「有効」または「未構成」に変更し「OK」をクリックします。

または、「有効」または「未構成」であることを確認し「キャンセル」をクリックします。

※「有効」または「未構成」のいずれを選択すべきか不明な場合には、

サーバーのご購入元にご確認いただきますよう、お願いいたします。

自動更新を構成する

前の設定(P) 次の設定(N)

☐ 未構成(C) コメント:

☒ 有効(E)

☐ 無効(D) サポートされるバージョン: Windows XP Professional Service Pack 1, または Windows 2000 Service Pack 3 以降

オプション: ヘルプ:

自動更新の構成:
2 - ダウンロードとインストールを通知

以下の設定が必要なのは (適用されるのは)、4 を選択した場合だけです。

☐ 自動メンテナンス時にインストールする

インストールを実行する日: 0 - 毎日

インストールを実行する時間: 03:00

このコンピューターで Windows の自動更新サービスを使用してセキュリティ更新プログラムやその他の重要なダウンロードを受け取るかどうかを指定します。

注: このポリシーは、Windows RT には適用されません。

この設定では、このコンピューターで自動更新の機能を有効にするかどうかを指定できます。サービスを有効にした場合は、グループ ポリシー設定の 4 つのオプションのうち 1 つを選択する必要があります。

2 = 更新プログラムをダウンロードする前、およびインストールする前に通知する

このコンピューターに適用する更新プログラムが見つかったと、ユーザーには、ダウンロードできる更新プログラムがあることが通知されます。Windows Update にアクセスすると、使用可能なすべての更新プログラムをダウンロードしてインストールできます。

3 = (既定の設定) 更新プログラムを自動的にダウンロードし、インストールの準備ができた場合通知する

OK キャンセル 適用(A)

以上で操作は終了です。